

2017 Seisa Dohto class for DELIVERY (星槎道都大学出張授業プログラム)

進路指導系 講座

番号	A-1	担当教員	社会福祉学科 飯浜 浩幸 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	あなたが目指すのはケアワーカー？ それともソーシャルワーカー？				
授業内容	未だ福祉＝介護のイメージがありますが、社会福祉分野には、介護以外にも、保育、ソーシャルワークの領域があります。それぞれの領域の担い手（専門職）になるためには、どのようなルートがあるのか？ また、専門学校と大学の学びの違いを考え、高校生のみなさんが資格取得に関して誤解しやすいポイントを説明し、進路選択の参考にしていただきたいと思います。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	福祉＝介護（ケアワーク）の誤解を解き、福祉の領域と仕事は多種多様であることを理解したうえで進路選択を考えていきます。			授業形式	講義
				受講定員	40名（クラス単位）
番号	A-2	担当教員	社会福祉学科 飯浜 浩幸 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	保育ソーシャルワーカーってどんな人？				
授業内容	保育士を目指す時に、幼児教育系を選択するのか、福祉系を選択するのか、大きく二つの選択肢に分かれます。それは、保育所保育士＋αでなりたい自分を考えるときも同じです。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	保育士の仕事は、子どもの保育だけではありません。保育所に通う子どもの保護者だけではなく、地域の子育て家庭の支援が求められています。今後、ますます活躍が期待される保育ソーシャルワーカーの重要性についての理解を深めます。			授業形式	講義
				受講定員	40名（クラス単位）
番号	A-3	担当教員	社会福祉学科 小早川 俊哉 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	ソーシャルワーカーの仕事 ～目的・視点～				
授業内容	卒業後に福祉専門職として働くイメージを持てるように授業を進めます。ソーシャルワーカーとして求められる資質は、社会で求められるコミュニケーション能力、実行力、想像力、洞察力、必要な情報の分析力などを基盤としています。ソーシャルワークを学ぶことは、自身を磨き、社会の求める人材になることをも意味しているといえます。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	ソーシャルワーカーの目的や視点を学ぶことは、様々な職業に通じるということを理解してもらいます。			授業形式	講義
				受講定員	40名（クラス単位）
番号	A-4	担当教員	社会福祉学科 瀧本 誓 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	大学で学ぶ心理学 ～心理学って何？～				
授業内容	心理学＝カウンセリングや心理テストというイメージを持っていないでしょうか。実際にはそれだけでなく、心理学は心がかかわるさまざまな過程について研究しています。この授業では、それらを紹介するとともに、心理学的なものごとの考え方や実験や調査などの研究の方法、学ぶに当たって勉強しておくことなどを伝えたいと考えています。あなたが考えている「心理」は心理学の心理？でしょうか。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	【目的】 本当の心理学を知ることで、大学での学びとのミスマッチを防ぎたい。 【方法】 さまざまな心理学の研究領域を伝えるだけでなく、実際に実験や調査を体験します。			授業形式	講義・演習
				受講定員	40名（クラス単位）
番号	A-5	担当教員	社会福祉学科 吉江 幸子 専任講師	対象生徒	全ての課程・学年 (教員・保護者も可)
授業題目	福祉に関する職業講話「福祉って何？」				
授業内容	次のような内容を組み込んで行います。また、ご要望にあわせて時間や内容を組み替えることもできます。 ①価値観カードを使った自己理解 ②福祉の職業紹介 ③福祉の仕事 ④資格の種類 ⑤資格の取得方法 ⑥大学での学習方法 ⑦仕事のやりがい ⑧高校時代にやっておくとよいこと				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	自分は何になりたいのか？ 何をしたいのか？を考える必要があります。そのために、まず、価値観カードを使って自分の価値観を探してみましょう！			授業形式	講義・演習
				受講定員	制限なし

2017 Seisa Dohto class for DELIVERY (星槎道都大学出張授業プログラム)

進路指導系 講座

番号	A-6	担当教員	社会福祉学科 吉江 幸子 専任講師	対象生徒	全ての課程・学年 (教員・保護者も可)
授業題目	「福祉のしごと」ガイダンス				
授業内容	介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士など福祉分野の資格とその仕事内容、やりがいなどの職業説明です。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	福祉分野の仕事内容や資格取得について学びましょう。			授業形式	講義
				受講定員	制限なし
番号	A-7	担当教員	デザイン学科 上坂 恒章 教授	対象生徒	美術系進路希望者
授業題目	美術・デザイン系学科の学び				
授業内容	美術やデザイン系の大学では何をどのように学ぶのか？ 本学生作品を通して、スライドや映像を使って解説します。また、美術系に進むには高校時代に何を学んでおかなければならないか、必要な適性は何か、などについてもお話しします。更に、卒業後の進路にはどのような分野や職種があるのかについても触れたいと思います。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	美術・デザイン領域の学び、仕事について理解してもらいます。美術・デザイン系に進学することを考えている生徒の参考になるように講義します。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)
番号	A-8	担当教員	建築学科 安藤 淳一 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	建築を学ぶ先に広がる進路				
授業内容	建築はどのようなものを指すのでしょうか？みなさんが住んでいる家も建築ですし、毎日みなさんが勉強する学校の建物も建築です。そのような建築がたくさん建ち並んで、街並みも都市も創られます。では、大学の建築学科ではどのようなことを学ぶのでしょうか？この授業では、建築の学びをわかりやすくかみ砕いて解説します。今、注目の建築についても紹介します。建築を学ぶ先にどのような将来が広がるか、社会に出た自分の姿が見えてきます。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	建築について多少でも興味のある生徒のみなさん、建築の仕事に興味のある生徒のみなさん、建築士という国家資格について知りたい生徒のみなさん、本気で建築を学びたいと考えている生徒のみなさんの疑問にお答えします。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)
番号	A-9	担当教員	経営学科 青山 浩之 准教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	『なぜ』という疑問を大切に① ～新聞記事を題材に読解力をつける～				
授業内容	近年、産業社会を取り巻く環境は大きく変化し、役割をはたすためには必要な基礎的な力が問われています。ゆえに、職場や社会で活躍する上で、必要な能力が若者に対して期待されます。この授業では、日常、何気なく接している新聞記事を題材に新聞記事を読み込み、さらに5W1Hを視点に理解を深め、自分の考えをまとめてもらいます。文章を読むことになれること。読む練習として新聞でトレーニングします。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	『なぜ』という疑問を大切に、内容を正確に理解する「読む」力を養成します。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)
番号	A-10	担当教員	経営学科 青山 浩之 准教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	『なぜ』という疑問を大切に② ～新聞記事を題材に論理的な文章を書いてみる～				
授業内容	近年、産業社会を取り巻く環境は大きく変化し、役割をはたすためには必要な基礎的な力が問われています。ゆえに、職場や社会で活躍する上で、必要な能力が若者に対して期待されます。この授業では、日常、何気なく接している新聞記事を題材に新聞記事を読み込み、5W1Hを視点に理解し、自分の考えをまとめてもらいます。さらに、自分の考えについて、理由や立場を明確にして、自分の意図を分かりやすい文章で伝える練習をします。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	『なぜ』という疑問を大切に、内容を正確に理解してまとめる「書く」力を養成します。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)

2017 Seisa Dohto class for DELIVERY (星槎道都大学出張授業プログラム)

進路指導系 講座

番号	A-11	担当教員	経営学科 青山 浩之 准教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	『なぜ』という疑問を大切に③ ～法的な視点から新聞記事を読んでみる～				
授業内容	近年、企業不祥事に関する記事が新聞をにぎわしている。法令違反が企業の存亡をも左右する現在、会社を取り巻く環境は急激に変化し、法律を守り、それに従って行動することが強く求められています。この授業では、日常、何気なく接している新聞記事(特定の事例)を題材に、各新聞記事を読み込み、法的に何が問題なのかを考える。また、ビジネス活動で起こりうる法的問題の認識の育成を目的とします。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	『なぜ』という疑問を大切に、物事を多面的にとらえる力を養成します。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)